

あなたの組織は、サプライチェーンの複雑さを克服する準備はできていますか？

現在の食品・飲料メーカーの多くは、絶えず変化する原材料の供給状況や季節の制約、断片化するサプライチェーンのバランスを考慮して事業を進めなければなりません。コストや環境負荷の低減を図りながら、サービスレベルを最大化するという課題に直面しているのであれば、このような方法をとる必要はありません。

最新のサプライチェーンプランニングツールでお客様の課題を解決する

需要計画

商品アイテムごとに一貫した需要パターン、標準的な季節パターン、あるいは散発的、標準的でない需要パターンなど、過去の実績と将来の確率に基づき、正確に把握することで、自信を持って予測することができます。

適切な需要予測の決定:

- 高度な統計予測を応用して最適な計算式で予測
- 消費ルールと需要感知
- 天気予報などの外部データソースを使用した機械学習
- プロモーション前後の効果を考慮した需要プロファイル
- シームレスな販売と事業計画のワークフローを1つのプラットフォームで実現

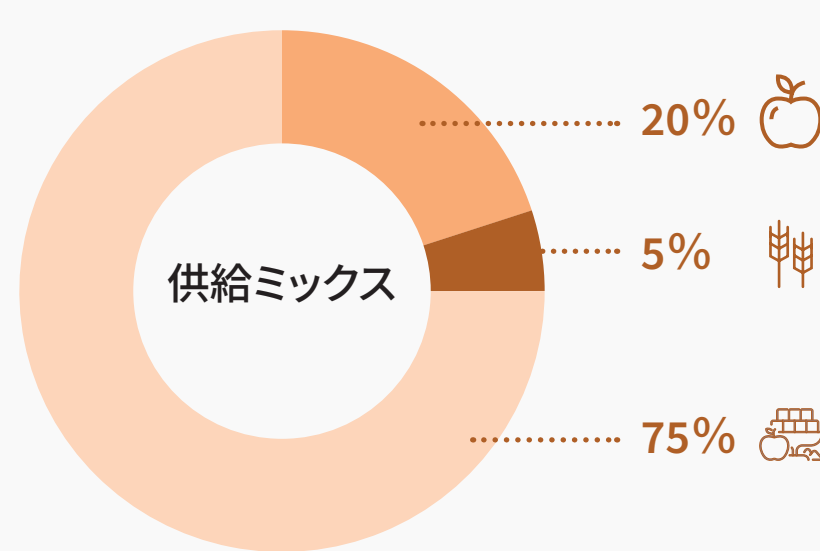


供給計画

サプライヤーと緊密に連携し、サプライチェーン計画ツールを活用することで、「もしも」のシナリオを評価し、在庫・販売・生産・倉庫・購買の各分析における実行可能性を比較することで、最適化された計画を実施することができます。

適正な供給体制を見極める:

- 制約ベースのプッシュプル計画と歩留まりの最適化
- サービスレベルと調達、製造、在庫、輸送のコストのバランスを考慮
- 賞味期限を考慮した在庫戦略
- プロテイン産業における切断パターンの最適化
- シナリオ主導のコンセンサス供給計画

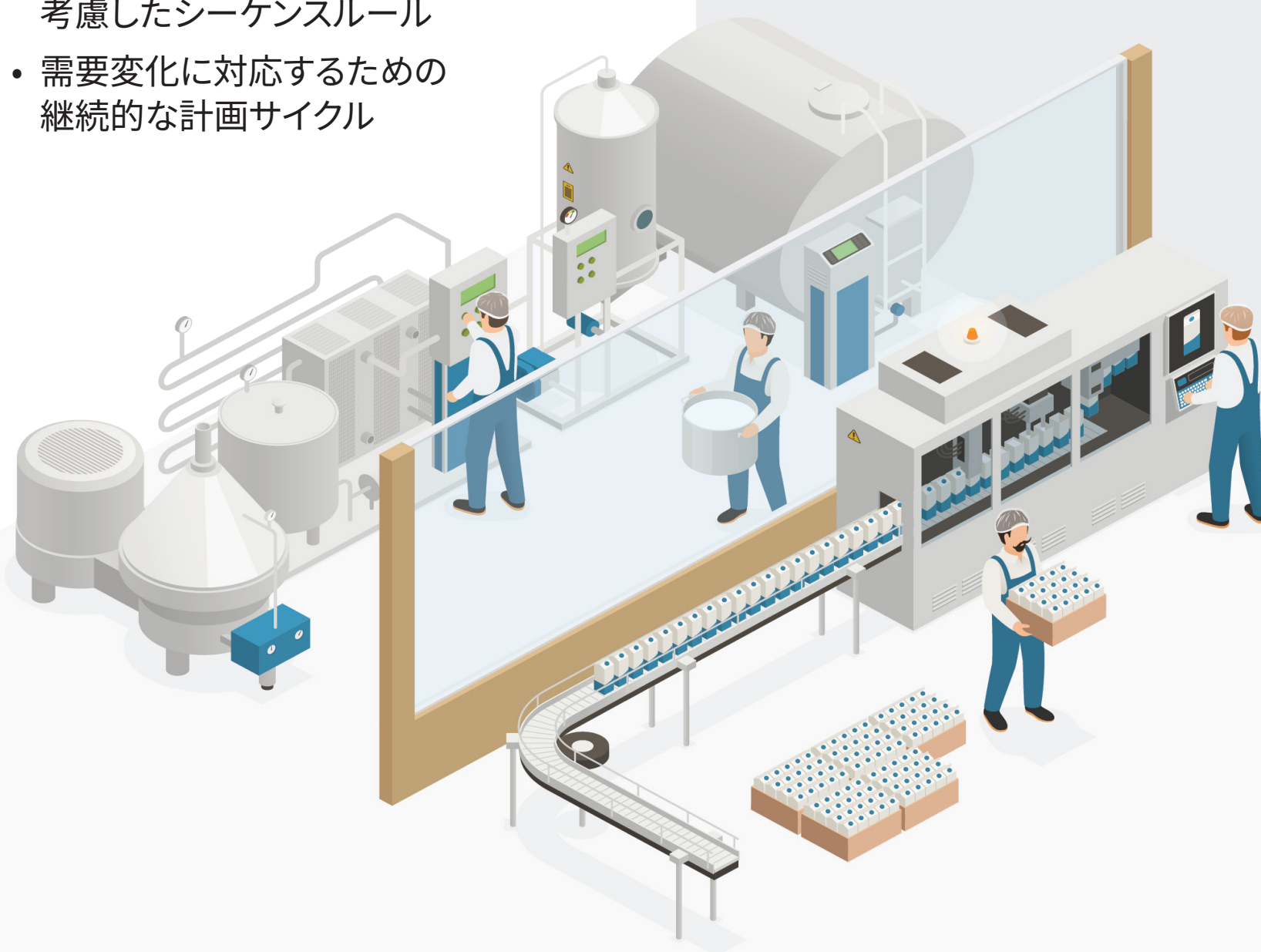


生産スケジューリング

混合、ブレンド、醸造、調理、反応、蒸留を行う場合は、製品の流れや容器、タンク、リソース容量を最適化するために、制約に基づくスケジューリングを実行できなければなりません。生産スケジュールを正確かつ最適化するためには、プランナーがその場で調整する必要があります。

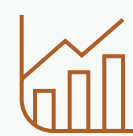
適正な供給体制を見極める:

- 設備と人材の最適利用を実現するキャパシティスケジューリング
- 供給、バルク生産、充填/包装ラインのプッシュプル同期化
- タンク、サイロ、充填ライン、流量などの容量を考慮した独自の機能
- アレルギ表示、包装などを考慮したシーケンスルール
- 需要変化に対応するための継続的な計画サイクル



需要と供給のバランスを良くすることで、より少ない中でより多くのことを実現します

外部要因をすべてコントロールすることはできませんが、将来の状況を予測し、新たなトレンドを活用することができるのです。サイロ化されたシステムや点在するデータセットから脱却し、完全に相互で接続されたサプライチェーンプラットフォームを採用することで、洗練された需給計画とスケジューリングに対応し、大きな成果を上げることが期待できるようになります:



需要計画

- 予測精度の大幅な向上
- プロモーション、季節性、新製品の需要に最適化された在庫水準と生産量



供給計画

- 需要減退や賞味期限切れの商品を減らす
- 企画担当者個人への依存度を下げる
- 農作物、家畜、牛乳の収量を最大化する
- 調達、生産、在庫、輸送のコスト最小化に対して最適なサービスレベルを維持
- サプライチェーンの混乱に対し、データドリブンの意思決定をサポート



生産スケジューリング

- タンク、サイロの稼働率と生産能力の向上
- 少ない稼働時間で処理能力向上、残業時間の削減、二酸化炭素排出量の削減
- オペレーションの変更に即座に対応
- 相互汚染のリスクを低減
- 食品、水、洗剤、時間の無駄を削減

接続されたサプライチェーン

食品・飲料メーカーの皆さまは、サプライチェーンの成功は、需要と供給のバランスを効果的にとる能力があるかどうかにかかっていることを理解しています。しかし、正確な予測の作成、供給の管理、生産の合理化には、複数のステークホルダーからのインプットが必要です。

詳細については、エグゼクティブ向け資料「**食品飲料製造におけるエンドツーエンドのサプライチェーンのコラボレーションと見える化の実現**」をご覧ください。

今すぐダウンロード →